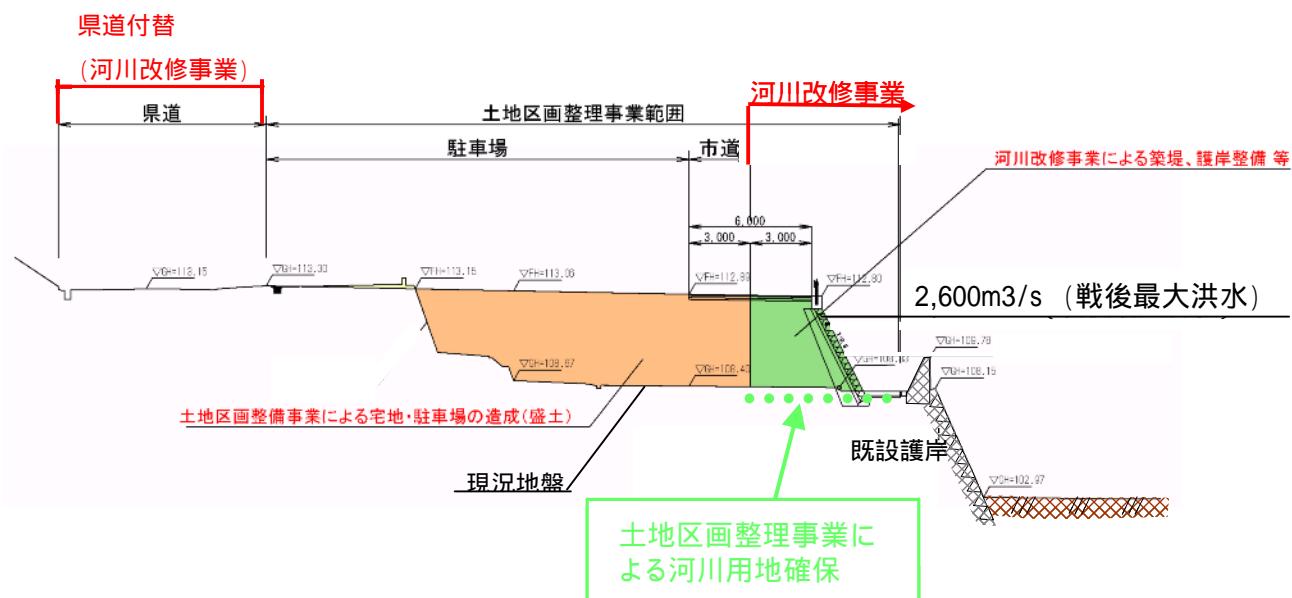


【中流部 武田尾地区 現況写真・整備横断イメージ】

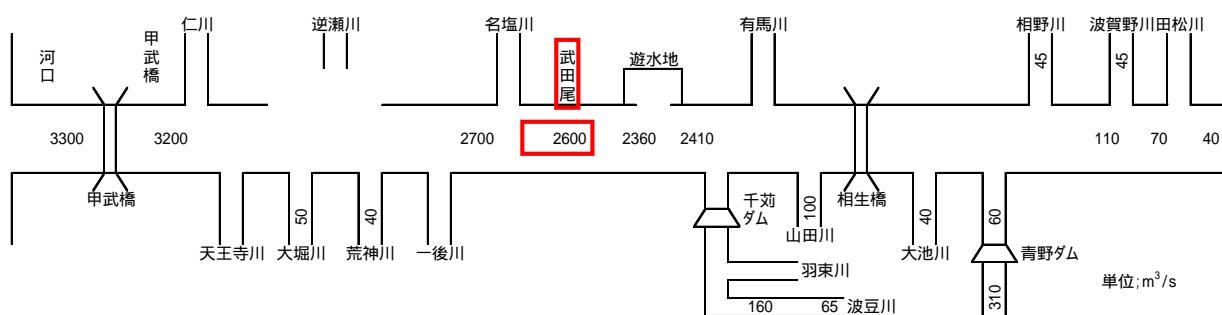
現況写真



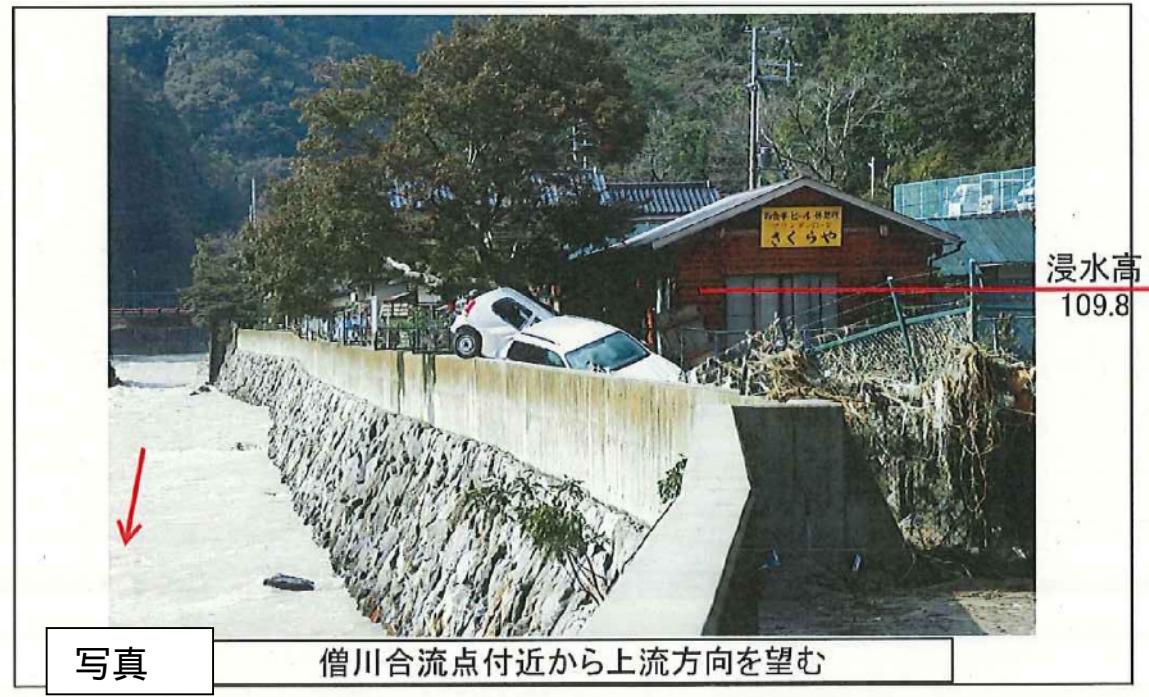
整備横断イメージ



【流量配分図】



平成16年10月台風23号による被災状況



1. 実施工程表

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
調査設計						
用地取得						
物件補償						
築堤・護岸						
人道橋架替						
県道付替						
区画整理	■	■	■	■	■	■

2. 事業効果について

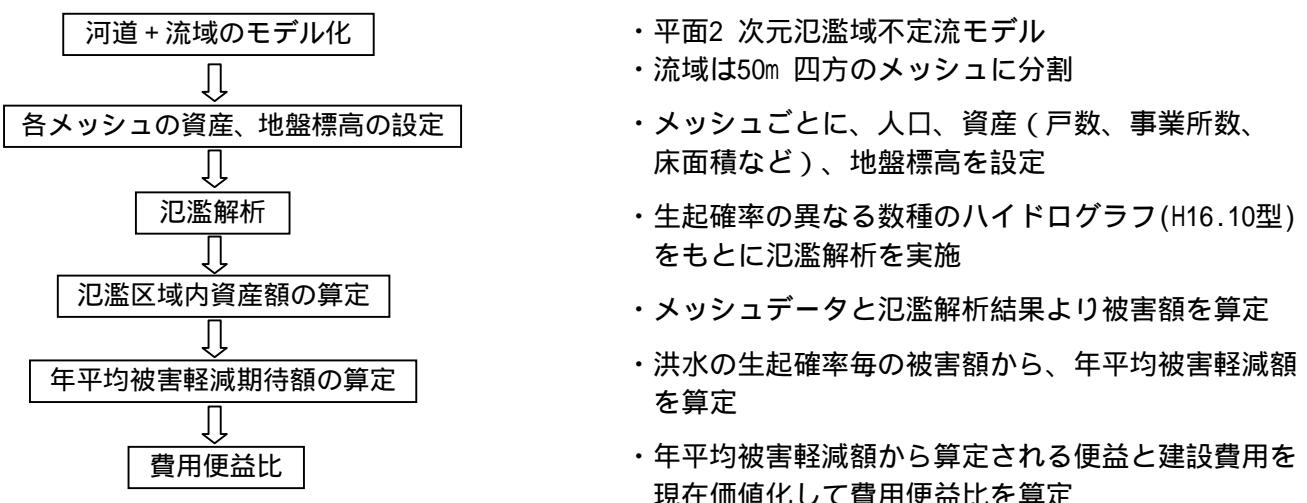
(1) 費用対効果

便益(B)の項目

1) 便益 = 治水事業を実施することによる被害軽減期待額を現在価値化被害額 = 一般資産被害(家屋、家庭用品、事業所償却資産、農漁家償却資産等) + 農産物被害 + 公共土木施設等被害 + 営業停止被害 + 応急対策費用

2) 費用 = 「建設費 + 維持管理費」を現在価値化

治水経済調査マニュアル(案) 国土交通省河川局 平成17年4月



費用便益比(B / C)算出根拠

便益(B)		費用(C)			B / C
総便益 (百万円)	代表的な効果	総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)	
393,704	戦後最大規模の洪水に対し ・浸水戸数 47,197戸の軽減 ・浸水面積 1,015ha の軽減	27,834	25,962	1,873	14.1

武庫川水系河川整備計画で実施する事業のうち、支川整備を除く、全ての事業費を対象とした。

下流部築堤区間(河床掘削、堤防強化等)、下流部掘込区間(河床掘削、護岸整備、パラペット)等、中流部(パラペット等の溢水対策)、上流部(河床掘削等)、洪水調節施設(新規遊水地、青野ダムの活用)、流域対策(学校・公園等貯留施設)

(2) 費用対効果に含まれない効果

- ・河川環境の整備による魅力ある河川空間の創造
支川僧川の護岸工の整備にあたり、重要な種であるカジカガエル等の河川内に生息する生物の生息環境や餌場の確保
河川に沿って新たに管理用通路を整備することによる親水性の向上